



かべ新聞 絆 (きずな) <令和6年5月号>

地域住民同士の「つどう」「まなぶ」「むすぶ」を支援し、人づくりと地域づくりに貢献します!

打田地区公民館
令和6年4月27日
文責:社会教育指導員
原 寿宏
(電話0736-77-3140)

打田地区公民館、頑張ってます!!

日頃より当公民館をご利用いただきありがとうございます。
4月以降まだ1箇月ですが、何人かの利用者の方から、「打田地区公民館、活性化してきましたね」と言っていました。何を根拠にそう仰っていただけたのかは分かりませんが、少なくともそう感じてくださっているということだと思えるので有難いことです。そのお言葉を励みに、職員一同、更なる公民館活動の充実・活性化に向け頑張っていますので、皆様方のご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

さて、当打田地区公民館では、職員が知恵を絞って講座内容を組み立てる、いわゆる「企画講座」に力を入れています。

その第1弾として、市広報「紀の川」4月号に「打田生涯学習センターで学ぼう!」と題して、通常の公民館講座の募集とは別に、1箇月前倒しでの広報を行ったところです。

これらの企画講座は、この紙面でこれまでも何度かお伝えしている、当公民館として皆様方に、“こんなことを学んでもらいたい”という社会的な課題(必要課題)に関連させたもので、“難しそうなことを分かりやすく”、また、“楽しいことをより楽しく”学んでいただくため、めったに経験できないような体験なども組み込んだ「渾身の企画」です。(自画自賛でごめんなさい)

また、各回ごとに感じるであろう皆さんの新たな気づきや発見を、ひと手間かけて受講者相互で共有できるようにしていきたいとも考えています。

◆ 企画講座 「目からウロコの雑学講座」～雑学で博学になろう!～ (全12回)

この講座の特徴は、県をはじめ様々な機関と連携し、暮らしに役立つ情報や新たな情報を提供するとともに、今まで体験したことのないことを体験していただけるような内容を組み込んでいます。

内容の一部は、私、社会教育指導員・原がかつて校長をしていた安楽川小学校で、子供たちに体験させた内容にアレンジを加えたものです。その一部を紹介します。自衛隊和歌山地方協力本部橋本地域事務所のご協力のもと実施した「南極の氷」に触る体験。この体験では子供たちは目を輝かせていたのが印象的でした。この時の驚きというか感動は、単に子供だからというのではなく、大人だってそう感じると思うのです。どうしたことかと言うと、その南極の氷は1万数千年前の氷で、常温の中で氷が溶けていく際、氷の中に閉じ込められていた当時の空気が1万数千年の時を経て「プチッ」と音を立てて溶け出してくるのです。これはまさに“神秘”以外の何ものでもないと思いませんか!!



的でした。この時の驚きというか感動は、単に子供だからというのではなく、大人だってそう感じると思うのです。どうしたことかと言うと、その南極の氷は1万数千年前の氷で、常温の中で氷が溶けていく際、氷の中に閉じ込められていた当時の空気が1万数千年の時を経て「プチッ」と音を立てて溶け出してくるのです。これはまさに“神秘”以外の何ものでもないと思いませんか!!

◆ 企画講座 THE「RAKUGO(落語)」塾 (全5回)

毎回、落語を一席聴ける楽しみもさることながら、その中に登場する人物・当時の文化や風俗・社会的背景などを題材に、人権や教育の問題をはじめ、様々な観点から現代の課題に重ね合わせ、“難しことを分かりやすく”考えていきます。こちらもある意味「目からウロコ」な内容かもしれません。また、少し尻込みされた方もおられたのではとも思いますが、最終回は実際の高座に挑戦するというワクワク・ドキドキ体験もありますよ!?

なお、第4回目の7/20(土)、「落語と教育 ～落語を教育にどう生かす!?～」は、「公民館へ行こうフェア」としても新たに募集する予定です。

スペシャルゲストとして、子供落語でお馴染みの **ぴょんぴょん亭うさぎ** さんも来館してくれます!! 乞うご期待!!



◆ 企画講座「いきいき交流教室」～人生100年つれもていこう!～ (全12回)

これまで開講してまいりました「長寿学園」と「女性学級」を統合し、「いきいき交流教室」にリニューアルいたしました! 高齢者の皆様や女性の方々に新たな知識・技能に触れていただくとともに、異なる世代・地域の方との交流を通じた新たな仲間づくりを促しながら、人生をより豊かなものにしていただこうとの趣旨からです。内容的にも“交流”ということに力点を置いており、**桃山・貴志川地区公民館と連携した巡回講座をはじめ、昨年度、試行的に実施した「文化祭めぐり」も正式に組み込んでいます。**受講者相互の交流を促す教室運営に心がけていきたいと考えています。なお、“交流”という観点から、これまでの応募状況を考慮しつつ、市内全域から受講できるようにしています。

お陰様で、定員50名に対して、定員を超える**60名**の皆様がご応募くださいましたが、すべての方に受講いただけるようにいたしました。打田地区以外からも**15名**の方が応募くださっており、まさに“交流”の輪の広がりが期待できそうです!

【「春季館外研修」は、南紀白浜方面に行きます!!】



さて、この写真の人は誰でしょう? そうです、和歌山県が生んだ博物学、民俗学の巨星・南方熊楠です。同時に生物学者としては、粘菌の研究でも知られています。

今回の館外研修は、「南方熊楠記念館」をはじめ、「京都大学白浜水族館」、「南紀白浜港」に行きます。また、昼食はオーシャンビューの絶景を眼下にホテルシーモアのランチバイキングをお楽しみいただく予定です。さらには海に溶け込んでしまうような“インフィニティ”足湯もお楽しみいただければと思っています。

なお、バス定員の関係で、抽選とさせていただきます場合があることをご了承ください。

◆ 「公民館講座の講師」を紹介しています!

市広報「紀の川」5月号での受講者募集に先駆け、初めての試みとして、当館掲示板に今年度各講座を担当いただく講師の方々の顔写真とともに、講座内容の説明と講師の皆さんの“意気込み”を紹介しています。

ご来場の皆様が、掲示板の前に立ち止まりご覧になってくださっている様子を事務室から“チラ見”しているのですが、多くの皆様がお申込みくださるのではと、期待が高まっています。

今後も、本「かべ新聞」等を通じ、公民館講座をはじめ、各種公民館事業の様子を紹介してまいりますのでご期待ください。



◆ 企画講座「自由に野帳(やちょう)スケッチ ～身近な歴史や風景を描く～ (全10回)

この講座の特徴は、「野帳」と呼ばれる雨天でも利用できる防水加工された、手帳サイズの製図用ノートを使用することです。小さいサイズで持ち運びも楽ですし、地域を散策しながら、お気に入りの風景や建造物に出会う度ごとに、ふと立ち止まり、自由に思うがままに筆を走らせる、そんな手軽さもこの講座の醍醐味の一つではないかと思えます。

また、地域を散策する中で、地域の文化や歴史、自然にも親しんでいただければ、まさに一石二鳥に楽しい講座となることでしょう!

市広報「紀の川」5月号でのご案内となります。



◆お知らせ◆

企画講座「おとなのコーヒープレイク」(全5回)は、市広報「紀の川」7月号で受講者の募集を行います。初回は、8月20日(火)13:30から開講となっています。初回と4回目が火曜日の開催となっています。それ以外は当初予定していた金曜日の開催となります。

